

## 令和5年度第1回 公立沖縄北部医療センター整備協議会幹事会 議事要旨

**I 日 時** 令和5年7月14日(金) 14:00～16:00

**II 会議場所** 北部合同庁舎 2階会議室

### III 参加者

**幹事長** 沖縄県保健医療部 糸数部長

**幹 事** 沖縄県保健医療部 喜舎場医療企画統括監

名護市 金城副市長、国頭村 宮城副村長

大宜味村 宮城住民福祉課長(代理)

東村 城間福祉保健課長補佐(代理)

今帰仁村 宮里健康づくり推進課長(代理)

本部町 上原副町長、恩納村 山城副村長、宜野座村 下里副村長

金武町 金城副町長、伊江村 内間副村長、伊是名村 高良副村長

北部地区医師会 宮里副会長

沖縄県病院事業局 諸見里病院事業統括監

琉球大学病院 平田副病院長

北部地区医師会病院 諸喜田病院長、県立北部病院 久貝院長

オブザーバー 北部市町村会 宮里事務局長、仲間広域連携課長

仲村広域連携課係長、安富広域連携課主任

事務局 沖縄県保健医療部医療政策課 古堅課長、

北部医療センター・医師確保推進室 川満室長、

小波津主幹、比嘉主査

沖縄県北部医療組合 下地事務局長、屋比久副参事兼施設整備課長、

松本総務課長、瀬長総務課主任

システム環境研究所 福地、比嘉

### IV 議事概要

#### 1. 開 会

今回の幹事会では、6月に完了した基本設計業務の報告、整備費と収支の見通しに関する報告、今後の実施設計業務の進捗状況、第1回財団法人部会の報告、医療従事者の確保に向けた転籍意向調査についての報告を予定している。

当会で審議した事項は、7月27日に開催予定の協議会に諮り最終確認を経て決定事項となる。また当会議は公立北部医療センター幹事会運営要領第7条の規定により、会議自体は非公開とし、会議終了後の議事録等についても原則として非公開とし「議事要旨について自由闊達な議論を妨げない範囲内において公表することができる」との取扱

いを行う事などについて、全幹事の下承を確認した。

## 2. 報告事項

### (1) 基本設計業務の報告について

今年6月に完了した基本設計業務について、沖縄県保健医療部より資料に基づき、1. 基本設計コンセプト、2. 施設整備方針、3. 建物概要、4. 立面図、5. デザイン計画、6. 配置計画、7. 平面図、8. 断面図、9. 電気及び機械設備設計基本方針、10. 環境配慮計画、11. 基本設計業務の概要について説明が行われた。

### (2) 整備費と収支見通しについて

整備費と収支見通しについて、沖縄北部医療組合より資料に基づき、基本設計に基づく概算整備費、整備財源のイメージ、収支見通しについて説明が行われた。

### (3) 実施設計業務の進捗について

実施設計業務の進捗について、北部医療組合より資料に基づき、1. 実施設計業務の業務概要、2. スケジュール、3. 審査委員、4. プロポーザル方式の概要、5. 実施設計業務に関連する委託業務等についての報告があり、県立北部病院、北部地区医師会病院と密に意思疎通を図り実施設計を進めていく旨の説明が行われた。

### (4) 第1回財団法人部会について

沖縄県保健医療部医療政策課より、公立沖縄北部医療センターの運営主体となる北部医療財団の設立に向けた、第1回財団法人部会開催報告がおこなわれた。内容としては、1. 議事要旨の公表について、2. 病院の運営主体となる財団法人設立までのスケジュール、令和5年度のスケジュールと検討の進め方等であった。

### (5) 医療従事者の確保に向けた転籍意向調査について

北部医療組合より資料に基づき、1. 令和4年転籍意向調査の結果、2. 今後の取組(案)、3. 今後のスケジュール(案)の説明をおこなった。

## 3. 意見交換

### (1) 基本設計業務の報告について

ア 公立沖縄北部医療センター整備基本計画と基本設計の主要な変更点はどのような部分か

⇒ 主な点として階高の変更(8階建てから6階建てに変更)、手術室の変更等がある。

イ 透析患者病床・感染者病床の考え方及び拡張性について

⇒ 透析については、北部地区医師会病院が有する70床を確保しており、医療従事者の確保や運用次第では、拡張することも可能である。

⇒ 感染症病床については、設計上、5階で最大42床まで拡張することが可能であり、6階病床の対応も検討できる。

ウ 屋上ヘリポート、地上ヘリポートの機能の違いは

⇒ 現在運用しているドクターヘリ等による患者搬送は、屋上ヘリポートを利用

する。地上ヘリポートは、大規模災害時等において多数の患者を輸送するための大型機を想定している。

## (2) 整備費と収支見通しについて

- ア 病院事業債に対する支援について、特別分の3分の2とすることの見通しはどうか。
- ⇒ 総務省との協議結果により左右されるが、病院機能の再編に伴う整備であり、特別分として認められる可能性は十分にあると考えている。
- イ 新たな国庫補助金とはどのようなものか。確定的な国庫補助金は、開院後の安定的な経営に必要であり、新規事業の獲得を是非検討して欲しい。
- ⇒ 琉球大学病院地域医療教育センター（仮称）の建設・運営に関する支援を考えており、事務レベルでの意見交換を行っているところである。引き続き丁寧に説明していきたい。
- ウ 収支見通しにおける給与水準は、開業時に県からの派遣職員がいる可能性も想定されているのか。
- ⇒ 給与水準については、基本合意書に基づき、北部地区医師会病院の給与水準で機械的に算定している。
- エ 医療器機は、全て新規購入を予定しているのか
- ⇒ 基本設計段階で、個々の器機について、継続使用・新規購入などの仕分けを行っており、全て新規購入としているものではない。
- オ 国への要請は、実施設計により概算費用が分かってから要請するのか。現時点の考え方でよいので教えて欲しい。
- ⇒ 要請の時期等については、市町村の意見も伺いながら検討してまいりたい。

## (3) 実施設計業務の進捗について

- ア 段階が進むにつれ、もともとの基本計画の考え方が薄くなっていく場合もあることから、基本計画を基本とするよう明記する必要があるのでは
- ⇒ 整備基本計画を踏まえた基本設計を遵守することとしてテーマを求めているところであり、考え方を踏まえながら進めていきたい。
- イ 実施設計段階で独自提案を求めると、往々にして費用が増額傾向となりがち。現在の整備費用は遵守するようにテーマ設定を行っていただきたい
- ⇒ 整備費用はコントロールしながら進めていく。物価高騰が続く環境にあり難しい面もあるが、工夫しながら費用の低減と財源確保に取り組みたい。
- ウ 開発設計は、地元の事業者も参加できるよう想定しているのか
- ⇒ 開発設計の一般競争入札要件については、県内事業者による入札参加とする予定である。

## (4) 第1回財団法人部会について

意見等は特になし

#### **(5) 医療従事者の確保に向けた転籍意向調査について**

- ア 令和4年度の転籍意向調査については、調査結果がわかりにくい。県立病院、北部地区医師会病院は分けて表現する等、工夫した方がよいのではないか。職種なども分けた方がよい  
⇒ 今後の調査において検討してまいりたい。
- イ 医療従事者の労働環境等については、転籍で重視する要件、1位給与、2位休暇制度、3位勤務時間とあるが、医師について勤務時間の関心が高く感じる。勤務時間と専門性が発揮できる環境整備をうまく条件設定できると、地理的不利性は克服できる可能性があるので検討をお願いしたい。  
⇒ 今後の調査において検討してまいりたい。

#### **4. その他**

##### **○ 沖縄県北部医療組合議会について**

県および各市町村から17名の組合議員が揃い、8月中旬に全員協議会で議会運営に関する申し合わせ事項等を協議し、第1回組合議会は構成団体の議会日程を踏まえ、9月下旬の開催を目途としている。具体的な日程は改めてお知らせする。

#### **5. 閉会**

本日の幹事会では、「基本設計業務の報告について」、「整備費と収支見通しについて」、「実施設計業務の進捗について」、「第1回財団法人部会について」、「医療従事者の確保に向けた転籍意向調査について」ご議論とご確認を頂いた。頂いたご意見を踏まえて7月27日の整備協議会に諮り協議させて頂くこととなる。

以上